

# 「学ぶ力」の育成に向けた

## 取組を学校全体で推進しましょう！

今号では、「**学ぶ力**」<sup>\*</sup>の育成に向けた取組を学校全体で推進するための、学力向上担当者及び研究主任の学校内での役割と一年間の見通しを紹介します。

※「学ぶ力(学力+意欲:自分を高める力)」

### 学力向上担当者及び研究主任の役割は重要です！

児童生徒の「学ぶ力」の育成に向けては、学習者である**児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり**をする必要があります。

例えば、授業において単元を見通し、**児童生徒が自ら学ぶ内容や方法等を考え、決定するような「学びを委ねる」場**をつくるのが考えられます。

管理職のビジョンと戦略(アクションプラン)を踏まえ、このような**取組を学校全体で主体的・組織的に進めることが、学力向上担当者及び研究主任の役割**です。研究主題や昨年度までの各種調査の結果等を確認し、管理職等と協議しながら、本年度の自校の取組を計画し、評価・改善サイクルを機能させましょう。

### 学ぶ力(学力+意欲:自分を高める力)の育成

#### 主体的な学びの充実

学ぶ意欲の向上  
学ぶ意義を実感  
基礎学力の定着

#### 授業改善の推進

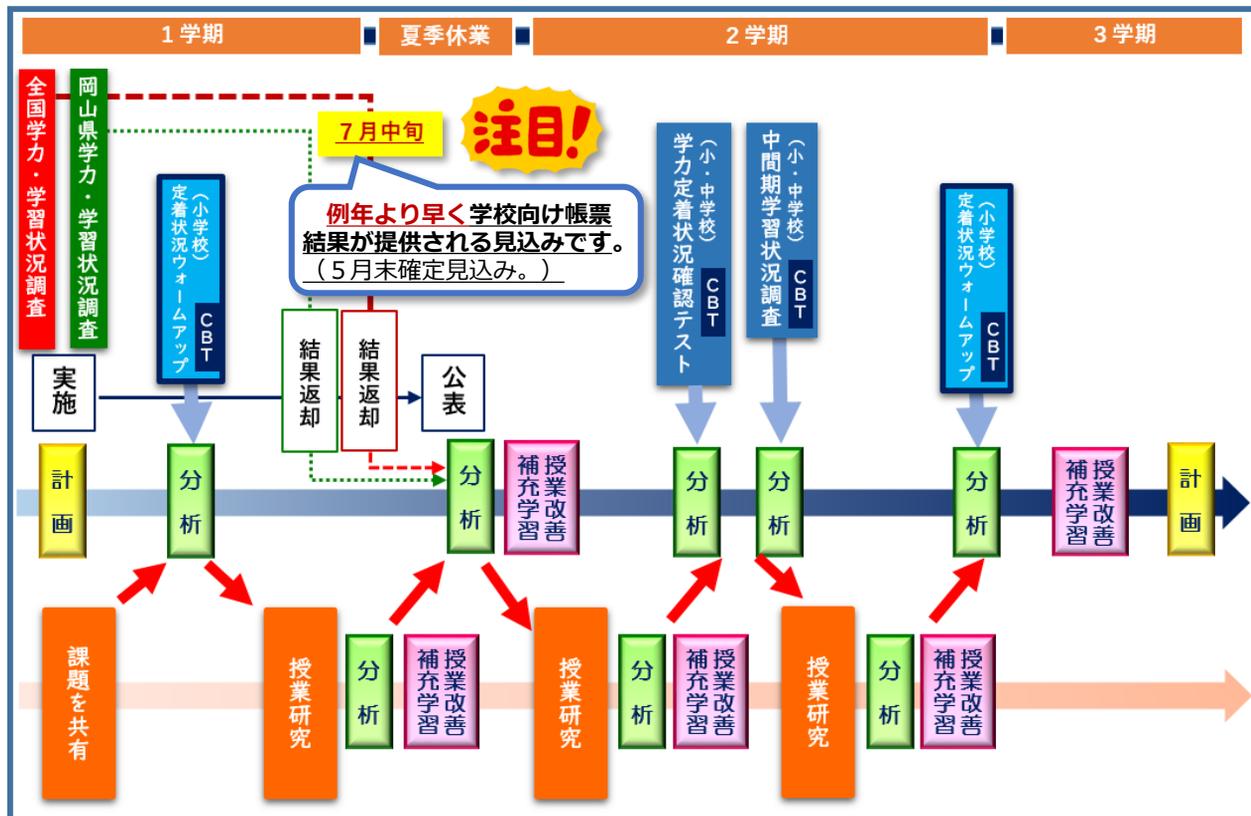
- 育成を目指す資質・能力に基づいた授業づくり
- 授業改善について語り合う学校風土の醸成
- 一層短いサイクルによる学習内容の確実な定着

図 令和7年度義務教育課の取組(抜粋)

### 年間の見通しをもち、主体的・組織的な取組にしましょう！

#### Step1

下図のように、全国・県学力学習状況調査や学力定着状況確認テスト等について、年間スケジュールを確認しましょう。



#### Step2

各調査の分析と授業研究を意図的に関連付けるとともに、前年度の学力定着状況確認テストやウォームアップを活用することで、短いサイクルで取組改善を行うことができます。